

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年7月11日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	東京湾大感謝祭実行委員会
所在地	東京都港区虎ノ門3-1-10 第2虎の門電気ビル4F (一般財団法人みなと総合研究財団内)
代表者役職・氏名	実行委員長・田久保雅己
担当者連絡先	電話：.03-5408-8298
	メール：fes@tbsaisei.com
ウェブサイトURL	<a href="https://tokyobayfes.jp/">https://tokyobayfes.jp/</a> <a href="http://tbsaisei.com/">http://tbsaisei.com/</a>

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

平成25年11月に、東京湾の環境再生に向けた活動や協働の輪を広げることを目的として、官民の多様な関係者により構成される「東京湾再生官民連携フォーラム」が設立された。  
当委員会が主催する「東京湾大感謝祭」は、当該フォーラムのプロジェクトの一つとして平成25年から開催されており、都市に住む市民や企業、団体と国や自治体が、ともに海の再生を考え、行動するきっかけを提供する場となっている。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	東京湾の環境再生に関係する国、地方公共団体、関係業界団体、漁業協同組合、NPO 法人等の幅広い関係者とのパートナーシップの下、「東京湾大感謝祭」の開催を通じて、海を起点にライフスタイルの転換を考え、行動するきっかけを提供する。	東京湾大感謝祭の後援及び協力団体並びに出展者を維持拡大し、少なくとも年に1回以上の開催を継続する。
✓環境 ✓社会 □経済	東京湾大感謝祭において、釣りやSUP等の海洋性レジャーの紹介、東京湾におけるSDGsに資する取組の紹介、東京湾における環境問題に関するトークショー等の幅広い世代を対象とした企画を実施することにより、東京湾の環境に係る普及啓発、地域社会の活性化、青少年の育成を推進する。	あらゆる世代の方を対象とした、東京湾の環境、水産、海洋性レジャーに関するプログラムを10個以上企画し、出展者数100団体、1回あたりの延べ来場者数10万人を目指す。
□環境 □社会 □経済		

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる									8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	感謝祭参加者に対し、会場に適用される消防及び安全・衛生にかかわるすべての法規、規則を厳守することを求めている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	実行委員会には、女性や高齢者など幅広い人材が参画している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる									8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	大感謝祭の運営にあたっては、会場において極力廃棄物を生じさせないよう配慮するとともに、再利用しやすいよう廃棄物の分別を徹底している。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	実行委員会の運営には会議室等において、大感謝祭の運営にあたっては会場において、来場者にも理解を得つつ照明や空調について必要最小限度の使用に努める。							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																							
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9				6.3					11.6	12.4								
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	実行委員会事務局における備品や消耗品については環境に配慮した調達を行っている。(グリーン購入)							6.6							15							
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	生活排水と東京湾の水質に関する情報発信を東京湾大感謝祭の展示やステージを行っている。							6.4 6.6														
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9				6	7				12	13.3	14	15						
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6										
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	温暖化対策に関する情報発信を東京湾大感謝祭の展示やステージを行っている。								7.2					13								
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15							
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4									
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している																	9					
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる									6				12	13	14	15						
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	東京湾を起点にライフサイクルの転換を考え、環境に配慮して行動するきっかけを提供する場として2013年より毎年東京湾大感謝祭を開催している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	東京湾における海洋環境の向上をめざし、周辺地域の市民や企業、団体、国、自治体と連携しながら取組を進めている。												9	11	12		14	15		17		
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	官民のSDGsアクション発表と交流の場「SDGs東京湾」として市民、企業・団体と国・自治体がともに行動するきっかけPRなどに活用いただいている。														11			14	15		17	
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	水産品など東京湾の資源としたものを積極的に紹介し、感謝祭の会場でも展示や販売などを行っている。																	8	9		11	12



## SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都港区虎ノ門 3-1-10 第 2 虎の門  
電気ビルディング 4F (一般財団法人 みな  
と総合研究財団内)

名称： 東京湾大感謝祭実行委員会

代表者： 山縣宣彦

登録年月日： 令和 4 年 9 月 21 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	東京湾の環境再生に係る国、地方公共団体、関係業界団体、漁業協同組合、NPO 法人等の幅広い関係者とのパートナーシップの下、「東京湾大感謝祭」の開催を通じて、海を起点にライフスタイルの転換を考え、行動するきっかけを提供する。	東京湾大感謝祭の後援及び協力団体並びに出展者を維持拡大し、少なくとも年に 1 回以上の開催を継続する。	東京湾大感謝祭を 2022 年 10 月に開催した。
✓環境 ✓社会 □経済	東京湾大感謝祭において、釣りや SUP 等の海洋性レジャーの紹介、東京湾における SDGs に資する取組の紹介、東京湾における環境問題に関するトークショー等の幅広い世代を対象とした企画を実施することにより、東京湾の環境に係る普及啓発、地域社会の活性化、青少年の育成を推進する。	あらゆる世代の方を対象とした、東京湾の環境、水産、海洋性レジャーに関するプログラムを 10 個以上企画し、出展者数 100 団体、1 回あたりの延べ来場者数 10 万人を目指す。	プログラムは 13 個。(103%) 出展者数は 56 団体。(56%) 来場者は 6572 人 (6.6%) ※コロナ禍のため来場者数を制限し実施。
□環境 □社会 □経済			